

化粧品からトナーまで
多彩な機能を発揮する
生命ロウ・セラリカ
一筋に取り組む

株式会社 セラリカ NODA

神奈川県
愛甲郡愛川町中津7202

1956年(昭和31年)設立
TEL 046-285-1265

<http://www.ceraricanoda.com/>



代表取締役社長
野田 泰三

昆虫や植物がその生命を維持するために生体内で作り出す「天然生命ロウ・セラリカ」。天保年間の創業以来、今日に至るまで、動植物ロウの工業原料化に取り組み、情報記録材からシックハウス対策まで高機能な素材創りに貢献。

175年の伝統によるローテクならぬ「蠟テク」で新たな用途開発

創業は、今から175年前の天保年間。藩の財政難を立て直すため、8代目の常太郎が、燻（はぜ）の実から木ロウを抽出精製する事業を営んだのが始まり。木ロウは、和燭や鬢付け油などに使われてきたが、12代目の現社長が天然ロウの持つ「熱に敏感で溶けやすく固まりやすい」機能を複写機のトナーに活かす新たな用途開発に成功。それを突破口として、ワープロの熱転写インクリボン、ファックスの感熱紙印字材料にも使用されるようになる。さらに植物ロウは、医薬品や食品のコーティング、高級化粧品にも使用される。また、昆虫系の蜜ロウはコンパクトディスク（CD）に添加することで、記録の保持能力を大幅に向上させるなど、生命ロウ・セラリカは情報分野においても重要な新素材となっている。

ホルムアルデヒド発散基準の最高等級『F☆☆☆☆』を初めて取得した自然塗料

住宅建材に使用されるホルムアルデヒドは、人体へ影響を及ぼすため、建築基準法でその使用が制限されている。その発散を防ぐため、食品用植物成分100%の木質用ワックスを開発。誕生した「セラリカコーティング・ピュア」は、木目を引き出す浸透性、汚れを簡単に落とせる洗浄性・撥水性を兼ね備えているばかりでなく、ホルムアルデヒドの発散に関して、国土交通省認定の最高等級『F☆☆☆☆（17・フォー・スター）』を自然塗料として初めて取得した。



生命ロウ・セラリカの用途開発商品



セラリカコーティング・ピュア